



第5回講座デイキャンプ33名参加

12月5日（土）に、周防の森ロッジにおいて第5回講座「デイキャンプ」を実施しました。この講座は、来年度の教育キャンプに向けて、キャンプ技術を高めたり、小学生に何をどのように教えたりするのかを学ぶことを目的として行いました。石川企画実行委員のKYT（危険予知トレーニング）やロープワークの研修、和久企画協力員の子どもとの関わり方と手遊びの研修もあり、充実した1日となりました。また、中学生リーダー養成講座（11名）、光ジュニアクラブ中学生（13名）、高校生（9名）の参加がありました。



KYT でどんな危険があるのか考えました



キャンプの意義と手遊びを学びました



着火剤の代わりに枝を集めました



薪で湯を沸かしました



薪割も鉈（なた）で行いました



防災食のエビピラフを食べました



デザートはマシュマロを焼きました



ロープワークを学びました



集いの流れを学びました



心に残るキャンプファイヤーでした

中学生リーダー養成講座・光ジュニアクラブ会員振り返り

・1日を通して、新たな学びが多くありました。これまでやったことがなかったロープワークでは、班の仲間と教え合いながら、解決することができました。他にも、キャンプの効果や組織キャンプとは何かなど、自分が知らなかったことがたくさん学べました。

・午前中のKYTや子どもとの関わり方を学ぶ講座では、班の仲間と意見を出し合いながら、深めていくことができました。火おこしでは、防災食の準備や片づけ、鍋洗いなどに取り組みました。鍋を洗って持っていったときに、高校生が「きれいだね。」と言ってくれたのが、うれしかったです。

・いつもより長く、夜もあったので、とてもワクワクしていました。マシュマロを焼いたり、焼き芋を食べたり、防災食のエビピラフを食べたりして、とてもおいしかったです。班長として、班員にケガはないかななどの安全の確保も大切だということが良く分かりました。

・今までキャンプをしたことがなかったので、とても良い経験になりました。特に印象に残っているのは、火おこしです。理由は、今までマッチを使うことがほとんどなかったので、いい機会になりました。

・キャンプファイヤーでは、みんなで歌ったり、踊ったりして、とても楽しかったです。

・（高校生リーダーの事後ミーティングから）来年度の教育キャンプの時に、小学生に何をどう教えれば良いのか、しっかり伝わったかが心配な点もあります。それぞれのグループにおいて、すべての場面で中学生リーダーを引っ張っていけるような活動をしていきたい。